



理念

高齢期の方々の尊厳を踏まえ、こころ温まる医療の提供と地域から愛される病院を目指します。

基本方針

- ① 認知症疾患の特性を踏まえ、個別性の高い医療と温かみのある療養の提供
- ② 認知症に関する介護教育と啓発活動の充実
- ③ 地域の医療・保健・福祉との一層の連携と協働
- ④ 働きがいのある職場づくり
- ⑤ 職員一人ひとりが自覚し、健全な病院運営への努力

患者様の権利に関する宣言

- ① 良質な医療を平等に受ける権利
- ② 選択および自己決定する権利
- ③ 意識のない患者様および法的能力のない患者様の権利
- ④ 十分な説明を受ける権利
- ⑤ 個人情報およびプライバシーを保護される権利
- ⑥ 個人の尊厳を守る権利
- ⑦ 通信・面会を自由に行う権利

INDEX

- 表紙** 福井の名所探訪④
水海の田楽・能舞(池田町)
- P2** すこやか講座
認知症初期症状(セルフチェック)
- P3** 家族は今「試行錯誤」
- P4** THE 病院
音楽演奏会
- P5** トピックス
新人紹介・脳トレクロスワードパズル
- P6** 認知症にやさしいまちづくり
功労者表彰
- P7** デイケアだより
- P8** 研修案内(一般・専門職)
令和3年2月～3月

認知症初期症状(セルフチェック)

現在、認知症の推計では65歳以上の15%の方が認知症になっていると言われています。福井県では2018年の認知症高齢者数は約2万9千人となっています。高齢化に伴って今後ますます認知症高齢者数は増加することが予想されています。認知症は早期に診断、治療することで、症状を和らげたり、進行を遅らせたりすることができます。今回は、認知症初期症状11質問票をご紹介します。

認知症初期症状11質問票

最近1か月の状態について、日々の生活の様子から判断して、あてはまるものに○を付けてください(ただし、原因が痛みなど身体にあるものは除きます)。

- ☐ 同じことを何回も話したり、尋ねたりする
- ☐ 出来事の前後関係がわからなくなった
- ☐ 服装など身の回りに無頓着になった
- ☐ 水道栓やドアを閉め忘れたり、後かたづけがきちんとできなくなった
- ☐ 同時に二つの作業を行うと、一つを忘れる
- ☐ 薬を管理してきちんと内服することができなくなった
- ☐ 以前はてきぱきできた家事や作業に手間取るようになった
- ☐ 計画を立てられなくなった
- ☐ 複雑な話を理解できない
- ☐ 興味が薄れ、意欲がなくなり、趣味活動などを止めてしまった
- ☐ 前よりも怒りっぽくなったり、疑い深くなった

認知症初期症状11質問票 合計項目数 点

次の2項目も、あてはまるものに○をつけてください。

- ☐ 被害妄想(お金を取られる)がありますか
- ☐ 幻視(ないものが見える)がありますか



記入：介護者などが、対象者の最近1か月の状態について、日々の生活の様子から判断して、あてはまるものに○を付けます(ただし、原因が痛みなど身体にあるものは除きます)。記入は、同居の方など、対象者の生活状況を良く知っている方にお願いします。認知症を発症すると、病識が低下するので、本人が記入したものでは認知症スクリーニングの評価ができません。「ある」、もしくは「ない」のいずれかで記入し、「ある」の合計数を点数とします。どちらともいえない場合は、不明ではなく、なるべく「ある」か「ない」で記入してもらいます。

判断：医療機関では、3点以上で認知症を強く疑います。地域での認知症スクリーニングでは4点以上で受診を勧めます。点数が高いから直ちに認知症ということではありません。なお、被害妄想などの妄想や、幻視がある場合には、点数にかかわらず、受診・精査を勧めます。

家族は今

試行錯誤



M・Y

母が春頃から「肩が痛い、腰が痛い」と言いだしたので、整形外科で診てもらったところ、『年のせいですね』という結果でした。

頭のふらつきや、以前よりも耳の聞こえが悪くなってきた為、耳鼻科で診てもらったりもしました。

夏の初め頃には、歩行もすり足になり、首が下がってきて、正面を向くことすらできなくなってきました。日常生活をきちんとこなす母が、次第に『やる気』すらもなくなってしまいました。

食欲も落ち、やっぱりどこかおかしいと思い、再度大きい病院で診てもらったら、整形外科ではなく神経内科で、との診断結果でした。

「詳しい検査をしましょう」という段階での2週間程で、みるみるうちに容態が悪くなり、幻視・暴言がひどくなりました。昼夜問わずの行動を家族で対処していましたが、家族側が体調を崩してしまい、困り果てていたところ、こちらで診ていただけることになり、家族皆、心が救われた思いでした。

コロナの影響で、病棟へ移動した後、もうそのまま会うこともできず、母がどうしているのか心配でしたが「オンライン」での面会があり、顔を見て話すことができた為とても安心できました。

入院し、お陰様で、母の顔が穏やかになり、食欲もでてきて、幻視もなく元気になることができました。

入院中もそうでしたが、退院に向けての際も、職員の方との話し合いがとても丁寧で、こちらが思っていることに親身に耳を傾けて下さって、心身共に大変お世話になり、ありがとうございました。

これから、デイケアやデイサービス等を受けながら、良い状態で穏やかに過ごせたらなと思います。



THE 病棟

病棟の日常風景を紹介!!

音楽演奏会



コロナ禍で、恒例行事が相次いで中止となる中、入院生活でストレスを溜め込まないように、介護職員が中心となり演奏会を開催しています。患者様が思い思いの楽器を使い曲に合わせてリズムをとって楽しんでいます。



↑使用する主な楽器♪

1番人気の楽器はカスタネットです。

曲 目

♪行進曲《威風堂々》	エルガー
♪おもちゃの兵隊の観兵式	イエッセル
♪カルメン 前奏曲	ビゼー
♪ハンガリー舞曲 第5番	ブラームス
♪クシコスの郵便馬車	ネッケ
♪双頭の鷲の旗の下に	ワーグナー
♪ラデツキー行進曲	シュトラウスI

など…

人気曲…行進曲《威風堂々》、ラデツキー行進曲



この度、すこやかシルバー病院で働かせて頂くことになりました余西です。長年一つの病院で放射線技師として働いて参りました。本当に狭い範囲で40余年過ごしてきたもので、自分の人生経験の少なさに改めて驚いているところです。穏やかな雰囲気この病院で働かせて頂けることを大変有難く思っております。初心に戻り、日々勉強して一日も早く皆様の信頼を得ることができるよう精進して参りたいと思います。

6月より看護師として東病棟で勤務しております富田 真司と申します。以前は外来の内視鏡室で勤務しておりました。年齢は40歳ですが看護師としての経験は3年目とまだ浅く、また病棟での勤務も初めての経験で大変なことも多いですが、先輩方のフォローやご指導のお陰で頑張ることができています。まだまだ覚える事が多くあるので積極的に仕事に取り組みたいと思います。患者様との関わりで大変さを感じる事もありますが、自分自身が認知症看護の実力を身に付けていくことで、少しでも患者様やご家族、共に働く仲間の力になれるよう日々研鑽していきます。よろしくお願いします。

ノープイントクロスワード

[illegible]

5

認知症にやさしいまちづくり功労者表彰

去る令和2年9月29日(火)、ハピリンにおいて「福井市認知症にやさしいまちづくり功労者表彰」が行われました。認知症カフェ「心愛」^{ここあ}の運営、中学生や地域の方々への認知症サポーター養成講座、認知症高齢者のひとり歩き声かけ模擬訓練での指導などの活動が認められ、当院の高嶋康子看護部長が表彰されました。

当日は、福井市内の地域で、認知症の啓発や、認知症の方・家族の方のケアに携わる個人8名の方が東村市長より表彰されました。



前列右から2人目 高嶋看護部長

診療体制が変更となりました

令和2年10月より、月曜日の午前中に初診(再診)が可能になりました。

診療体制は下記の通りです。ご予約の際には、お電話をお願いします。



外来診療担当医表

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
村田	午前	再診	—	初診 (再診)	再診	初診 (再診)
	午後	初診 (再診)		再診		再診
伊藤	午前	再診	初診 (再診)	—	再診	再診
	午後		再診			
はばた 幅田	午前	初診 (再診)	初診 (再診)	再診	—	再診
	午後	—	初診 (再診)	初診 (再診)		初診 (再診)

デイ・ケア便り

10月 ボランティア講座

秋と言えば、読書・芸術・食欲・スポーツ... いろいろありますが、今回は教養を深める機会に、と地域の語り部さんから『吉江藩と近松門左衛門』と題してお話をいただきました。鯖江市吉江町は近松門左衛門の生誕地であることだけでなく、吉江藩と徳川家のつながりについても教えていただきました。歴史ある資料を眺めながら、鯖江市以外からお越しの利用者さんも興味深く聞き入っておられました。

講座終了後も質問が相次ぎ、和気あいあいとしたひとときとなりました。



11月 菓子器づくり

牛乳パックを再利用した、菓子器づくりを行ないました。ご自分で好きな柄の和紙を選んで貼り付けていただき、ハサミで切り込みを入れて組み立てました。

「お菓子、のせるのにちょうどいいのー」「何のお菓子をのせようかのー」という利用者さんの声の中に、「マスク、置いてもいいんでないんか?」と口元に付けておられるマスクを指しておっしゃる声も聞かれました。

ご自分で作られた作品を、生活の中で幅広い用途で使っていただけたら嬉しいです。



まんだら

12月 曼荼羅めりえ & 干支の貼り絵づくり

一年のしめくくりの師走... 新しい一年を迎えるにあたり、^{まんだら}曼荼羅めりえと干支の貼り絵づくりを行ないました。できるだけたくさんの利用者さんの手をお借りし、今年も素晴らしい大作が出来上がりました。黙々と作業に没頭される方、「来年は丑年かー」と周囲と交流されながら取り組まれる方など、楽しみながら作り上げてくださいました。待合ロビーに展示しておりますので、来院された際には是非ご覧になってください。



福井県立すこやかシルバー病院研修案内

参加無料

注意事項

- ・定員以上の受付は致しません
- ・体調不良の方の入場禁止（体調不良の方はご連絡いただき来場しないでください）
- ・検温の実施（37.0℃以上の場合、入場でできません）
- ・手指消毒の実施（入場の際消毒ください）
- ・マスク着用（各自ご準備ください）
- ・換気の実施（服装、掛物、座布団等持参のうえ調整ください）
- ・座席指定制（指定された席以外利用できません）
- ・参加者氏名・住所・電話番号の記載
- ・専門職の方は所属施設の許可がある場合のみ参加可（所属施設の許可がない場合申し込みしないでください）

一般の方を対象にした研修

研修場所：福井県立すこやかシルバー病院（福井市島寺町93-6） 2階会議室

研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	講師	定員
認知症の基礎知識と対応のポイント	2月12日（金）	13時30分～15時	・認知症の症状 ・認知症高齢者の対応のポイント	福井県立すこやかシルバー病院 伊川 朱美看護師	20名
高齢者の運転免許更新の流れ	2月17日（水）	13時30分～15時	・運転免許更新に伴う高齢者講習について ・医療機関受診と診断書の記載について	福井県立すこやかシルバー病院 谷口 久良精神保健福祉士	20名
心も体も元気に健康に ～認知症の理解、予防、支援～	2月24日（水）	13時30分～15時	・認知症の危険因子 ・脳を鍛える対策 ・心と体を元気にする活動、実演	福井県立すこやかシルバー病院 内藤 明美作業療法士	20名
認知症の進行段階別症状と対応	3月5日（金）	13時30分～15時	・認知症の進行に伴う症状の変化について ・認知症の進行に合わせた対応について	福井県立すこやかシルバー病院 荒井 岐枝看護師長	20名
認知症の基礎知識と対応のポイント	3月9日（火）	13時30分～15時	・認知症の症状 ・認知症高齢者の対応のポイント	福井県立すこやかシルバー病院 多崎 真希子看護師	20名
脳を活性化させよう	3月19日（金）	13時30分～14時10分	・心と体を元気にする活動、実演	福井県立すこやかシルバー病院 松間 香織作業療法士	20名
認知症高齢者の口腔ケア	3月26日（金）	13時30分～15時	・口腔ケアの重要性について ・認知症高齢者の方の口腔ケア事例	福井県立すこやかシルバー病院 石丸 智佳子副看護師長	20名

ケア専門職の方を対象にした研修

研修場所：福井県立すこやかシルバー病院（福井市島寺町93-6） 2階会議室

研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	講師	定員
認知症の方の怒りの原因を考える	2月19日（金）	13時30分～15時	・認知症の方が怒りっぽくなる原因 ・認知症の方をケアする人の対応はこれで大丈夫？	福井県立すこやかシルバー病院 認知症看護認定看護師 和田 敏道	30名
怒りのある方への対応	2月25日（木）	14時30分～16時30分	・怒りをしずめる上手な接し方 ・逆効果となる対応	福井県立病院 精神看護専門看護師 山口 達也氏	30名
認知症を生きる人との対話	2月26日（金）	13時30分～16時30分	・認知症を呈して生きる人とのコミュニケーション ・認知症者へのスピリチュアル・ケア ・共感的コミュニケーション	関西福祉科学大学社会福祉学部 教授 都村 尚子氏	30名
認知症ケアと予防に役立つ料理療法	3月1日（月）	13時30分～16時30分	・認知症予防と「料理すること」 ・「料理すること」の認知症への効用とは？ ・料理療法のすすめ方	京都教育大学家政科 教授 湯川 夏子氏	30名
認知症の方とのコミュニケーション	3月2日（火）	13時30分～15時	・認知症の方の特徴、心理状態 ・認知症の方とのコミュニケーションのポイント	福井県立すこやかシルバー病院 介護福祉士（認知症介護指導者） 分見 民雄	30名
パーソン・センタード・ケアを現場に生かす	3月3日（水）	13時30分～16時30分	・パーソン・センタード・ケアの考え方 ・パーソン・センタード・ケアの事例 ・本人の視点からの行動の理由を考えてケアを充実させるポイントを学ぼう	浜松医科大学医学部看護学科 教授 鈴木 みずえ氏	30名
イライラとうまく付き合う介護職になる	3月6日（土）	13時30分～16時30分	・介護現場で抱くイライラや怒りの事例、原因 ・イライラや怒りに対するアンガーマネジメント手法を使った適切な対応法	横浜市立大学医学部看護学科 講師 田辺 有理子氏	30名
認知症の人の暴言・暴力を予防する関わり	3月8日（月）	13時30分～15時30分	・認知症の人の暴言・暴力を軽減させるためのコミュニケーション、関わり方について ・認知症の人の暴言・暴力事例を考える	日本福祉大学看護学部看護学科 教授 平田 弘美氏	30名
高齢者レクリエーション	3月10日（水）	13時30分～16時30分	・高齢者にとってのレクリエーションの意義、効果 ・高齢者に対するレクリエーションの注意点、演習	関西大学人間健康学部 人間健康学科 教授 涌井 忠昭氏	30名
認知症に罹患した知的障がい者のケア	3月11日（木）	13時30分～16時30分	・知的障がい者の認知症の実態、特徴、支援方法、課題	武蔵野大学人間科学部 社会福祉学科 准教授 木下 大生氏	30名
穏やかで自然な最期を支えるために	3月12日（金）	13時30分～16時30分	・自然死とは ・看取りケアの考え方 ・看取りケアの進め方	東京有明医療大学看護学部看護学科 大学院看護学研究科 教授 川上 嘉明氏	30名

新型コロナウイルス感染症等の影響により、研修は中止となる場合がございます。
その際はご連絡いたしますので、申し込み時に連絡先をお伝えください。